



めいし しゅうしょく
名詞修飾



あなたなら、左の絵のような女性をどのように表現しますか。

★【髪が長い女性】【ギターを弾いている女性】などと、語や文を使って、ある名詞（この場合は「女性」）について“詳しく述べる（修飾する）”ことを「名詞修飾」といいます。

→【ギターを弾いている髪が長い女性】と、一つにまとめて言うこともできます。

☛どんなに長くても、修飾する部分は“いつも名詞のすぐ前”にあります。

例)

- ① ・図書館で借りた
日本語の
・おもしろい



- ② ・駅前に新しくできた
安くておいしい
・おしゃれな



きみ まも
♪君を守りたい♪

この歌は【【【大切な人】を温かく見守る主人公】の気持ち】】を表現した【美しいバラード注1】】】です。歌詞の中に様々な名詞修飾が出てきます（例：この街、まぶしい季節、君が流した涙）。「どんな～（名詞）」か、考えながら歌いましょう。

ことばと表現

▶寂しげな：寂しそうな。「形容詞+げ」で“人の気持ちがそのように見えること”をあらわす（例：楽しげ、不安げ、何か言いたげ）。

▶風景：“景色や眺め”のほか、“ある場面の様子”をあらわす。「君が出会った風景」は“君に起こった問題”や“そのときの様子”という意味。

▶重ねる：ある物の上に、ほかの物を置くこと。

(1) ゆっくりした速さの感傷的な（センチメンタルで寂しげな）ポピュラー音楽。

かし まな
歌詞から学びましょう



めいし しゅうしょく めいし まえ み
名詞修飾は“名詞のすぐ前”をよく見て！

さまざま ご ひんし めいし しゅうしょく
★様々な語（品詞）で、名詞を修飾することができます。

ぼくひとみ ぼく めいし
例) 僕の瞳、僕のあした（名詞） この街、その夜（連体詞）
まぶしい 季節（イ形容詞） 寂しげな笑顔、同じ痛み（ナ形容詞）
すぐそこ（副詞）

おな つ とくべつ けいようし
☞ 「同じ」は「な」が付かない特別なナ形容詞です。

例) × 同じな空 ○ 同じ空

めいし しゅうしょく つか ぼくひとみ ぼく ひんし
☞ 「の」は名詞で修飾するときに使います（例：僕の瞳、僕のあした）。ほかの品詞には付けないでください！

例) × まぶしい季節 ○ まぶしい季節



ぶん しゅうしょく ほうほう
文で修飾する方法

ふつうけい つか しゅうしょく もと ぶん か
★「普通形」を使って修飾します注²。このとき、元の文の「は」は「が」に変わります注³。

きみ み あ そら きみ そら み あ
例) 君が見上げる空 (← 君は空を見上げます。)

きみたびだ みらい きみ みらいたびだ
例) 君が旅立つ未来 (← 君は未来へ旅立ちます。)

ぶん しゅうしょく めいし まえ つ ちゆうい
☞ 文で修飾するときも、名詞の前に「の」を付けないように注意しましょう。

例) × 君が眠れない夜 ○ 君が眠れない夜

うえ ふた めいし しゅうしょく しゅうしょく めいし そら みらい しゅうしょく
☞ 上の2つの名詞修飾では“修飾される名詞”「空」「未来」と“修飾する文の述語”「見上げる」「旅立つ」を、元の文と同じように「を」「へ」という助詞を使って、表すことができます（「空を見上げる」「未来へ旅立つ」）注⁴。

(2) 自己紹介など丁寧な形を使って修飾する場合もあります（例：韓国から参りました朴と申します）。

(3) 時々、「の」を使うこともあります（例：君の流した涙）。

(4) このような名詞修飾を「内の関係」といいます。これに対して、例えば「パンが焼けるにおい」という名詞修飾では、修飾される「におい」と修飾する文の述語「焼ける」を助詞でつなげることができません（×においを焼ける、×においへ焼ける、×においで焼ける、など）。このような名詞修飾を「外の関係」といいます。